歴史研究支援システムの開発

こんな問題に取り組んでいます

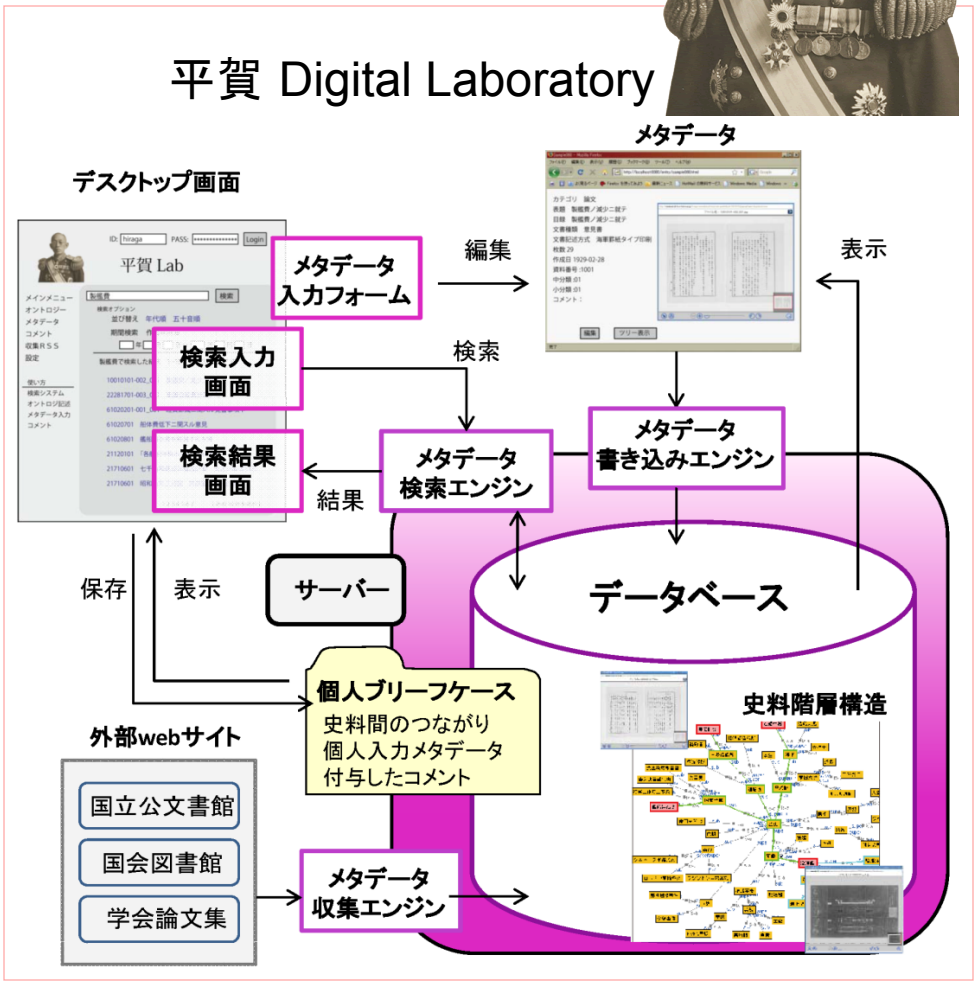
今までの歴史研究は貴重な史料が手元になければ研究が進みませんでした。近年ではデジタル化された史料をweb上にて共有できるようになりました。そこで平賀デジタルアーカイブを土台として新たな歴史研究モデルシステムの構築に取り組んでいます。

こんなことがわかってきました

歴史研究の一連の流れを電子化することによって史料を探し出す時間の短縮ができ、史料に対する分析やコメント付けがスムーズに行われます。また機械的な検索手法を使うことによって関連史料が自動的に推薦される仕組みを整えられることがわかってきました。

研究の成果はこんな分野に活かされます

これからは深い専門知識を必要とせずに関連する史料が自動的に表示されることにより、目的の資料を探し出す労力が大幅に軽減されます。このシステムが完成すれば、あらゆる分野の歴史研究に生かすことができるだけでなく、様々な文書管理、画像管理、ファイル管理へと役立てることができます。



関連展示：産業環境学研究室（269）
連絡先：　東京大学 大学院新領域創成科学研究科 人間環境学専攻
大和　裕幸<yamato@k.u-tokyo.ac.jp>